

きたうえ
川西市議会議員 **北上**

あきひと
哲仁

2006年9月
編集:北上哲仁サポーターズ
活動報告「いなほだより」
15号

社会新報/号外
社会民主党
全国連合機関紙宣伝局
週刊(水曜日発行)
東京都千代田区永田町1-8-1
電話(代)03(3580)1171
□定価180円
□1ヵ月700円
□送料160円



守ろう! 川西の保育 **経費削減のための 栄保育所廃止・民営化に反対。**

昨年10月、市立栄保育所を廃止・民営化する計画が明らかになりました。市は民営化によって子ども一人あたり年間約50万円の経費削減になると言います。いま、少子化、核家族化、地域の連帯感の希薄化、小中学校での学級崩壊やいじめ、問題行動の顕在化などを理由に、乳幼児期の子育て支援の重要性が益々高まっています。求められるのは経費削減ではなく、保育内容の向上と必要な場所への認可保育所増設です。「計画見直し」を求める陳情署名は、これまでに約2万5千筆が市議会に提出されました。私は「他のことは節約してでも、子どもたちのためにもっと予算を!」と議会で訴えています。

いま北上は子育て真っ最中。子どもたちと親の声を市政に届け続けます。



世田谷区羽根木プレイパーク視察

子育て、子育てには課題がいっぱい。プレイパーク(冒険遊び場)などの先進地視察を行い、子どもの遊び場・居場所づくりを提案しています。乳幼児家庭訪問支援や子育て中の親が集える場所づくり拡充を要望しています。児童育成クラブ(学童保育)の職員や保護者との話し合いを重ね、夏休みなど長期休暇中の給食実施、開設時間延長、指導員増員などを議会で訴えています。子どもも大人も楽しく学べる生涯学習施策や芸術文化の振興に努めています。若い人たち、子育て世代が移り住みたい、一生住み続けたいと思える魅力あるまちをつくることは、市全体の活力になります。(川西市の出生率は03年=1.07、04年=1.12と全国平均よりも低い)



娘を保育所に送るのが日課

今こそ活かせ! 憲法9条。「戦争で幸せになる子どもは、いない!」のだから。

川西の小学生が訴えました、「戦争で幸せになる子どもは、いない!」と。全くその通りです。自分の子どものいのちが尊いように、イラクの子どももピョンヤンの子どもも、いのちは等しく尊いと私は信じます。世界の子どもたちに平和な未来を保障するのは大人の責任であり、政治の役割です。党派を越えた多くの市民の皆さんと9条を活かす運動(「平和への共同・ひょうご」運営委員など)を続けています。議会では、市民参加型の平和施策や国際交流、多文化共生プロジェクトなどを提案。市民に戦争協力を強いる「国民保護計画策定」や子どもたちの心を縛る「教育基本法改悪」には反対の立場から討論をしました。



自衛隊海外派兵反対集会でアピール



憲法9条の大切さを訴える(川西能勢口駅前)



東ティモールの子どもたち

憲法9条

1項 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2項 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない。

知的障がい者、図書館での雇用実現

北上は初質問(02年12月)で、知的障がい者の市立中央図書館での雇用を提案。昨年度より、2人の方が司書の補助的業務に取り組んでいます。

10月より「障害者自立支援法」が、完全施行(4月より一部施行)されます。これまで障がい福祉にはなかった「応益負担」の考え方が導入され、生活そのもの(市役所や病院に行くためのヘルパー、作業所で働くこと...)に1割負担が求められます。障がい重い人ほど大きな負担がかかるのです。家に閉じこもったり、家族が過度の介助を強いられないか危惧します。川西市における「地域生活支援事業」の内容は今秋以降に決まりますが、当事者の生活を確実に支援できる内容にしたいと思います。障がいを持って、年を重ねても、生きる喜びを感じながら安心して暮らし続けられる地域づくりを目指しています。



北上 哲仁

環境をキーにしたまちづくりを。

川西には猪名川や里山など豊かな自然環境が沢山あります。身近な自然を保全し、市民の憩いの場や子どもたちの遊び場として活用できるよう、仲間の皆さんと共に活動しています。環境保全審議会委員(3年間連続で就任)として「環境基本条例」「環境基本計画」づくりに取り組んでいます。(「環境基本条例」は本年6月市議会で制定)地球温暖化防止やバリアフリー、通学路の安全確保などを目指し、交通政策について関係機関と定期的な協議を続けています。加茂地区に生息するヒメボタルなど、稀少生物保護のためのルールづくりを議会で提案しています。



武蔵野市コミュニティバス視察



国崎地区の山桜見学会を催す



飲み水の安全性確保を求める署名活動

高額土地買収、損害賠償を請求。

猪名川上流広域ごみ処理施設建設地は、日本一の里山であり水源地(一庫ダム)の直近であるため、建設に異議を唱えてきました。また建設地の土地買収は不当に高額であり、損害賠償を求める住民訴訟(2億円程度の土地を約10億円で購入した疑い)に取り組んでいます。工事は進んでいますが、今後とも飲み水の安全性確保などを関係機関に働きかけます。(一庫ダム周辺の里山は、河合雅雄編「ふしぎの博物誌」中央公論新書でも「日本一の里山」と紹介されている)

小学校の米飯給食、2学期から週3回に。

学校給食については地元農産物の積極的な活用、遺伝子組み換え食品や輸入牛肉の不使用、米飯の回数増などを要望してきました。今年度2学期から、米飯が週2回から3回に増えます。輸入小麦を原料としたパンはポストハーベストやアレルギーの心配が大きいですが、米は伝統食で和食のおかずは健康的です。川西では100%地元産米を使用しており、米飯給食は身近な水田を守ることにもなります。また、アトピー・アレルギー、化学物質過敏症などに苦しむ人たちと共に、その対策を追求してきました。医療機関の充実、住宅地・学校・公園などにおける農薬使用制限の徹底、「化学物質子どもガイドライン」策定などを議会で強く訴えています。



大切なのは
いのちと健康!

「しごと・くらし何でも相談」

出産を理由にした 不当解雇を撤回させました。

働く者、特にパートや派遣など非正規労働者の権利と生活を守るため、労働組合「いながわユニオン」をつくり活動しています。「出産したから」「労働組合に入ったから」そんな理由で解雇された人たちの職場復帰を実現しました。経営者が不当に及ぶ労災も認定させました。また、介護保険や生活保護、法律の相談などにも取り組んでいます。一人で悩まず、一緒に考えましょう。

顧問相談員

恵須川満延行政書士 小池貞二社会保険労務士
大川一夫弁護士 在間秀和弁護士

いややねん！住基ネット。

個人の尊厳とプライバシーを守りたい。

多額の費用を注ぎ込む住基ネット、私たちにとってメリットはありません。全ての市民に11桁の番号をふり、生涯にわたりコンピューターで一元管理するシステムは、個人の尊厳を否定しプライバシーを奪う危険性があります。外交面で軍事大国化すれば、内政において民主主義が否定されるのは歴史の経験から明らかです。市民への管理・監視強化は、「戦争する国づくり」に繋がります。私は住基ネットからの離脱を求めて闘い続けています。



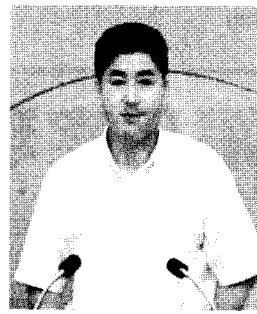
兵庫住基ネット訴訟団(兵庫県下13市1町、105名)の事務局長を務める



娘の通う保育所「夕涼み会」の一コマ



ご近所の皆さんと焼き芋



本会議での質問

北上哲仁 プロフィール

1971年猪名川町生まれ。中学時代、ネパールの子どもたちを結核から救うための活動を友人と始め、これが生徒会あげての運動に広がる。県立猪名川高校では生徒会長を務め、また市民活動にも参加。94年和光大学人文学部を卒業後、川西市社会福祉事業団で知的障がい者の職業指導に取り組む。97年衆議院議員中川ともこ公設秘書に。ダイオキシン対策や介助犬の法整備などに尽力。99年には国連ティモール支援団に参加。02年川西市議会議員に。まちづくり調査委員長、総務副委員長、決算副委員長などを歴任。唯一の30歳代議員として奮闘。現在、都市計画審議会委員、環境保全審議会委員、萩原1丁目自治会長、川西北小学校区人権啓発推進委員長、市立中央保育所保護者会長、地域に生きる川西市民の会代表、兵庫住基ネット訴訟団事務局長、などを務める。妻と娘(もうすぐ3才)の3人で暮らす。

北上哲仁サポーターズの活動は市民の皆さんの力で支えられています。
活動報告「いなほだより」は年4回、編集・発行しています。
あなたもサポーターになってください。

年会費1,000円

郵便振込/00970-9-48158
北上哲仁サポーターズ

- <http://www.kitaue.com> ●E-mail akihito@kitaue.com
- 事務所 川西市萩原台東1-275-3 TEL 072-758-7724 FAX 072-758-7725
- 自宅 川西市萩原1-11-2-1 TEL/FAX 072-740-3145
- 携帯電話 090-3613-7069